

5月2日（月） たてわり開き

連休の谷間に行われたたてわり開きは、天気にも恵まれ、3年ぶりに校庭で楽しむことができました。

各色に分かれて、6年生が自分たちのグループを並ばせたり、好きな遊びを皆に考えさせたりする姿は、さすが最上級生でした。その後、鬼ごっこやどろけい、ドッチボールなど遊びの輪が、校庭のあちこちに広がります。どのグループも、笑顔があふれていましたね。

思い思いの遊びに夢中になっている子どもたちは、とても生き生きとしており、マスクを全員がしていること以外は、これまでと何も変わらない元気な子どもたちそのものでした。あるドッチボールのグループを見ていると、内野にいる高学年の子たちが、まだボールを投げていない子がいないか、皆に声をかけて確認し、ボールに触っていない低学年の子にボールを回してあげるなど、優しい行動が自然に見られ、心温まりました。

異学年交流の中で生まれる思いやりの心や全校で活動する中で溢れてくる活気を体感し、集団で生活する「学校」のよさを改めて実感した、5月の幕開けでした。



6年生がリーダーシップをとって
たてわり開きの進行を進めています

校庭いっぱいに
遊びの輪が広がって
います



先生も皆と一緒に交じって、
ドッチボールを楽しんでいます